



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2023～2024 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦～例会に出席しよう～



世界に希望を生み出そう

◆会長 岩本 正樹 ◆幹事 長瀬 栄二郎 ◆会報委員長 井ノ下 雄志 ◆会報担当 鷲塚 英雄

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1331 回	56 名	56 名	35 名	—	62.50%
前々回 1329 回	56 名	56 名	43 名	2 名	80.36%

●点 鐘 ●会長の時間

皆さんこんにちは、移動例会お疲れ様でございます。本日は奉仕プロジェクト部門の事業で財団の地区補助金を活用した『絵本作家いしかわこうじ先生 ワークショップ&講演会』を10時半から開催しております。午前中の部は「ペーパーワンコ&ニャンコを作ろう」と題されたペーパークラフトを作るワークショップで、親子が一緒になってハサミや糊、クレヨン等を使ってワンコやニャンコを楽しそうに作ってりました。又、いしかわこうじ先生の絵本の読み聞かせでは、聞いているお子さん達はみんな絵本の世界に引き込まれていくのがとても印象的でした。絵本の読み聞かせには感情が豊かになるとか、想像力が育まれる、言語力が上昇する、集中力が上がる、コミュニケーションが取れるようになる等の効用が期待できると言われておりますが、さすが、絵本作家いしかわ先生の読み聞かせだけあって、伝える表現力がとても素晴らしくて大人のお母さん方や私たちまで聞き入ってしまいました。この絵本のような、言ってみれば親子のコミュニケーションツールをテーマにした奉仕活動は、先週もお話させて頂きましたロータリーの七つの活動分野の一つ『母子と健康』にまさにぴったりの活動で、たまたまですが母子と健康月間である今月に開催出来たことはとても良かったなと思っております。あと、ひとつ思ったのは、いしかわ先生のようなプロの方に保育園などの保育士さん達、実際に仕事として読み聞かせをしている人を対象に絵本の読み聞かせのコツなどをレクチャーしてもらう講習会等の機会を作るのも良いことだなと思ったりしました。やはり子供たちが相手なので絵本の世界



に引き込む為にして良い事、やってはいけない事など上手に読み聞かせを行う手法があると聞いております。先生のような読み聞かせを保育士の皆さんが修得出来れば、それがお母さん方にも伝わり家庭の幼児教育にも好影響を与えるのではないかなと感じた次第でありました。

さて、この例会終了後、12時50分から本日のもう一つの柱である、高山図書館の利用者さん達に広く利用して頂くという趣旨で物品を寄贈致しますが、その寄贈式を執り行ってまいります。先日も申し上げましたが、正式な寄贈先は高山市役所生涯学習課でリクライニングベビーカート3台、エプロンシアター10点を寄贈いたしますので再度報告申し上げます。又、そのあと1時半からは午後の部、いしかわ先生の講演会がございます。興味の有られる方は是非お残りいただいてお聞きなさってください。きっと幼児教育のヒントが見つかるかと思えます。

最後になりましたが、来週、再来週と例会は休会となります。そして、8月21日には山陣にて私だけかもしれませんが待望の浴衣例会でございますので、皆様方におかれましては夏風邪や熱中症などには十分注意なされてお過ごしくださいませお願い申し上げます。会長の時間とさせていただきます。

●奉仕プロジェクト部門長 熊崎 元康

皆さん、こんにちは。本日は移動例会になりましたが多数出席いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。先ほど会長の時間で事業概要を全て説明していただいておりますが、重要な趣旨としてお話しさせていただきます。補助金申請書類では、子



どもたちに正しい教養を身につけてもらうには、そのために図書館の利用、読書を推進していただくということを趣旨として提出しております。個人的な考えなんですけど、僕らの子どもの頃よりは数百倍情報があふれています。ちょっと簡単にパソコンを開けばフェイクニュース、どうでもいいような情報から本当に正しい情報。それを自分たちで調べて判断できる子どもを育てるということに関しては、図書館の利用ということはとても大事だと思います。と言いながら、僕は子どもの頃、図書館は全然利用しませんでしたけど、でも今日参加していただいた、未就学児の子どもたちはとても楽しそうに、ワークショップに参加していただいて、ああいう子たちが図書館に行くところと楽しいところと思ってもらえれば、今回の事業もある程度の目標達成はできるのではないかと考えております。例会終了後、高山市への寄贈贈呈式を行います。時間がもし許すようでしたら、ご参加よろしくお願いたします。以上です。

●高山市図書館 館長 西田 純一 様



ご苦労様でございます。本日の事業につきましては、会長さんの方から説明がありました通りでございます。今年の事業を通してベビーカーとエプロンシアターを頂き本当にありがとうございます。去年もご支援いただきました。去年は実際に例会の場でも少し作業された方もいらっしゃるかと思いますけれども、東京でございます NPO シャンティ国際ボランティア会さんの方で来て頂きまして、開発国にあたるアジアの国で本もあることを知らない子どもたちに絵本を送るということで、日本の絵本に現地語のシールを貼ってもらい贈る事をして頂きました。また、車いす 3 台とデータ音声の読み上げをするプレクストークを頂いております。本当に高山中央ロータリークラブさんには大変お世話になってありがたいなと思います。先ほどお話しがあった通り、データがすごい煩雑になった時代で、もともとエアロボットと呼ばれていたところ、今 GDP がどんどん進化してくる中で、公共図書館もそうなんですけれども、学校の図書館というのもやっぱり興味深いことになっているということ。今「GIGA スクール」という文科省の政策の中で、中学校は主に教室で Wi-Fi 環境を

拡張しているのですが、URL 検索だけでよみたいな雰囲気が漂っていて、学校の図書館も日本も少し落ちているような状況もございます。ですので、なおさら学校の前のお子様たちに絵本に出会って頂く、その延長上でデータをやっぱり吟味というか、比較的知識を得るデータをイメージし学力を付けるところに繋げて頂きたいという事で、できるだけ本に親しんで頂きたいというふうに思っております。今日お話を聞いて、私たちも一生懸命そこに協力していける事があるのかと思いますので、今後ともご支援頂きますよう、よろしくお願いたします。ありがとうございました。

●「地区補助金事業」

プロジェクト名：「子どもと絵本 本好きの
子供育てるための講演会とワークショップ」

実施日：2023年7月30日（日）

実施会場：高山市図書館 煥章館

ワークショップ：

10：30～11：30

「ペーパーわんこ&にゃんこをつくろう」

親子 20 組

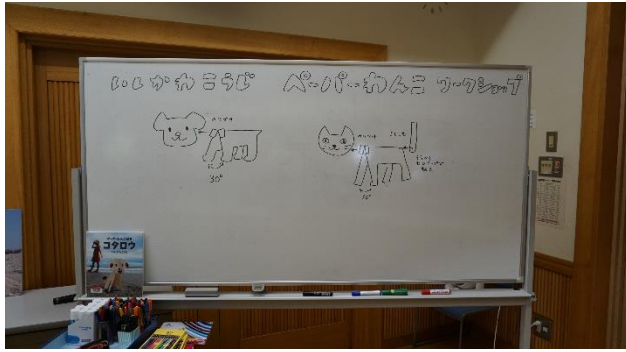
講演会：

13：30～15：00

「子どもと絵本 本好きの子どもをそだてるには」

親子 38 組





● < 寄付贈呈式 >

寄付目録贈呈



挨拶

高山市民活動部長

西永 勝己 様



感謝状贈呈

